

2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月10日

上場会社名 NANO MRNA株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4571 URL <https://www.nanomrna.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 秋永 士朗
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CF0コーポレート本部長 (氏名) 藤本 浩治 TEL (03) 6432-4793
 四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト及び機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	91	△1.0	△518	—	△471	—	△477	—
2023年3月期第2四半期	91	—	△697	—	△600	—	△887	—

（注）包括利益 2024年3月期第2四半期 △521百万円（-％） 2023年3月期第2四半期 △817百万円（-％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	△6.80	—
2023年3月期第2四半期	△12.66	—

（注）当社は、2022年3月期第2四半期において、四半期連結財務諸表を作成していないため、2023年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率の記載をしております。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	5,439	3,791	69.4
2023年3月期	5,784	4,253	73.5

（参考）自己資本 2024年3月期第2四半期 3,776百万円 2023年3月期 4,251百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	0.00			
2024年3月期（予想）			—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	143	△29.0	△1,042 ～△1,382	— —	△995 ～△1,335	— —	△1,029 ～△1,369	— —	△14.64 ～△19.48

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：有

④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記(会計上の見積りの変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	70,393,158株	2023年3月期	70,151,558株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	11,427株	2023年3月期	11,427株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	70,208,782株	2023年3月期2Q	70,043,934株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、2023年1月より事業モデルを転換し、mRNA医薬候補及びそれに関する知的財産（IP）を創製し、製薬企業にライセンスアウトすることを事業の柱として事業を進めております。当第2四半期連結会計期間においては、アクセリード株式会社及び傘下企業、並びに株式会社IPガイアとの協業のもと、効率的にmRNA医薬のIPを創出する当該事業の実施体制を確立するとともに、当社研究開発の執行体制を充実させております。その中で、複数のパイプラインのインキュベート、既存パイプラインの研究開発推進、及びその他の事業活動に取り組んでまいりました。

(mRNA医薬パイプライン)

COVID-19ワクチン開発の成功により一気に新たなモダリティとしての地位を確立し、2023年のノーベル生理学・医学賞を受賞した技術でもあるmRNA医薬の様々な疾患への適応に向けて、感染症予防ワクチン、がん治療ワクチン、遺伝性疾患治療薬、また組織再生薬などの領域で既に臨床POCが得られてきています。当社は、COVID-19パンデミック以前からmRNA医薬に注目し、変形性膝関節症に対するmRNA組織再生薬の開発を進めており、日本医療研究開発機構（AMED）資金の活用により非臨床開発をほぼ終了し、規制当局と治験開始に向けた相談を実施しております。今後、製薬企業、非製薬企業及びアカデミア等との共同研究開発を推進し、パイプラインの拡充を図り、IPを創製できたものから順次、製薬企業等へライセンスアウトを進めてまいります。

RUNX1 mRNA： アクセリード株式会社と共同で設立した株式会社PrimRNAにおいて、変形性膝関節症患者を対象とした医師主導第Ⅰ相臨床試験に向け、規制当局と治験開始に向けた相談を実施しております。本プロジェクトは、軟骨の増殖・分化に関わる転写因子RUNX1のmRNA医薬品であり、変形性膝関節症の進行抑制及び疼痛の軽減を実現する革新的な疾患修飾型治療薬を目指し開発を推進しております。なお、本プロジェクトは、AMEDの医療研究開発革新基盤創成事業（CiCLE）に採択されております。

(mRNA医薬以外のパイプライン)

mRNA医薬以外のパイプラインの開発も継続して行っております。

TUG1： 脳腫瘍の中で最も悪性度が高い膠芽腫を対象とした医師主導第Ⅰ相臨床試験実施に向け、非臨床開発が完了し、現在治験開始に向けて準備が進んでおります。また、2023年8月に本課題の基盤となる2件の特許について、再実施許諾権（サブライセンス権）付独占的ライセンス権を獲得し、今秋からの本格的導出活動の準備が整いました。TUG1は、長鎖非翻訳RNA TUG1に対するASO（アンチセンスオリゴ）のDDS製剤です。なお、本プロジェクトは、名古屋大学との共同研究であり、AMEDの革新的がん医療実用化研究事業に採択されております。

NC-6100： 公益財団法人がん研究会有明病院において、医師主導第Ⅰ相臨床試験が実施されております。NC-6100は、慶應義塾大学等との共同開発プロジェクトであり、転写因子PRDM14に対するsiRNAのDDS製剤です。

(販売事業の状況)

株式会社アルビオンが販売する美容液エクラフチュール及び薬用美白美容液エクシア ブライトニング イマキユレート セラム用の当社技術を応用した原材料を供給しております。

また、株式会社エイオンインターナショナルとの契約に基づき、PRP療法を用いた不妊治療をサポートしております。

なお、当社がセオリアファーマ株式会社と共同で国内第Ⅲ相臨床試験を実施したコムレクス®耳科用液1.5%（開発コードENT103）は、2023年6月からセオリアファーマが販売を開始しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、化粧品材料供給収入、ライセンス収入及び共同研究開発契約収入等により91,108千円（前年同期比1.0%減）、営業損失は518,624千円（前年同期営業損失697,086千円）、経常損失は471,447千円（前年同期経常損失600,597千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は477,360千円（前年同期親会社に帰属する四半期純損失887,006千円）となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間におきまして、以下の営業外収益、営業外費用及び特別損失を計上しております。

- ・外国為替相場の変動による為替差益47,456千円を営業外収益に計上しております。これは主に、当社の保有する外貨建預金の評価替えにより発生したものであります。
- ・第21回新株予約権の発行に伴う、新株予約権発行費9,950千円を営業外費用に計上しております。
- ・建物附属設備の減損処理を行ったこと等により、減損損失4,040千円を特別損失に計上しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産は、投資有価証券の減少等により、前連結会計年度末に比べ345,244千円減少し、5,439,146千円となりました。負債は、主に未払法人税等や流動負債の「その他」に含まれる預り金の増加等により、前連結会計年度末に比べ116,392千円増加し、1,647,340千円となりました。純資産は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上による利益剰余金の減少等により、前連結会計年度末に比べ461,636千円減少し、3,791,806千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

(2024年3月期連結業績予想)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
通期	143	△1,042 ～△1,382	△995 ～△1,335	△1,029 ～△1,369	△14.64 ～△19.48

当社はビジネスモデルを転換し、mRNA医薬のIPジェネレーターとしてシーズの探索及び非臨床試験までの研究開発を推進しております。当該事業に係る研究開発費は、事業の進捗状況により大きく変動が見込まれることから、当期の業績予想につきましては、研究開発費予算をレンジ形式により表示しております。これに伴い、連結業績予想の営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益、1株当たり当期純利益につきましてもレンジ形式で表示しております。

第28期(2024年3月期)において、主要経営指標であります売上高、営業利益、経常利益、当期純利益につきましては、2023年5月12日の「2023年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表した連結業績予想に変更はありません。また、第28期の研究開発費は、816百万円～1,150百万円を見込んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,811,624	2,939,698
受取手形及び売掛金	35,970	58,214
有価証券	1,632,079	1,701,177
原材料及び貯蔵品	648	2,224
その他	188,503	129,335
流動資産合計	4,668,826	4,830,651
固定資産		
有形固定資産	0	0
無形固定資産	149	0
投資その他の資産		
投資有価証券	886,168	334,826
その他	229,246	273,668
投資その他の資産合計	1,115,414	608,494
固定資産合計	1,115,564	608,495
資産合計	5,784,390	5,439,146
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,183	3,886
未払法人税等	5,544	15,936
資産除去債務	—	5,600
その他	352,373	454,890
流動負債合計	364,101	480,313
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	1,108,916	1,108,916
繰延税金負債	9,488	12,179
資産除去債務	25,997	23,487
その他	22,444	22,444
固定負債合計	1,166,846	1,167,027
負債合計	1,530,947	1,647,340
純資産の部		
株主資本		
資本金	119,150	142,465
資本剰余金	5,499,591	5,522,905
利益剰余金	△1,371,505	△1,848,865
自己株式	△27	△27
株主資本合計	4,247,209	3,816,478
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,180	△40,403
その他の包括利益累計額合計	4,180	△40,403
新株予約権	2,052	15,732
純資産合計	4,253,443	3,791,806
負債純資産合計	5,784,390	5,439,146

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	91,992	91,108
売上原価	19,297	15,916
売上総利益	72,694	75,192
販売費及び一般管理費	769,781	593,817
営業損失(△)	△697,086	△518,624
営業外収益		
受取利息	14,052	10,392
為替差益	83,560	47,456
雑収入	179	38
営業外収益合計	97,793	57,888
営業外費用		
新株予約権発行費	—	9,950
株式交付費	435	111
雑損失	869	649
営業外費用合計	1,304	10,711
経常損失(△)	△600,597	△471,447
特別利益		
固定資産売却益	2,713	1,351
特別利益合計	2,713	1,351
特別損失		
固定資産除売却損	—	2
減損損失	6,912	4,040
投資有価証券評価損	281,000	—
特別損失合計	287,912	4,043
税金等調整前四半期純損失(△)	△885,796	△474,140
法人税、住民税及び事業税	1,210	3,220
法人税等合計	1,210	3,220
四半期純損失(△)	△887,006	△477,360
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△887,006	△477,360

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純損失(△)	△887,006	△477,360
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	69,430	△44,584
その他の包括利益合計	69,430	△44,584
四半期包括利益	△817,575	△521,944
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△817,575	△521,944
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△885,796	△474,140
減価償却費	136	28
受取利息	△14,052	△10,392
為替差損益(△は益)	△82,889	△47,800
株式報酬費用	10,491	31,638
株式交付費	435	111
新株予約権発行費	—	9,950
固定資産除売却損益(△は益)	△2,713	△1,348
投資有価証券評価損	281,000	—
減損損失	6,912	4,040
売上債権の増減額(△は増加)	△4,542	△22,244
棚卸資産の増減額(△は増加)	32,166	△1,576
前渡金の増減額(△は増加)	△61,716	40,074
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,488	△2,296
未払金の増減額(△は減少)	△52,348	40,529
預り金の増減額(△は減少)	55,016	43,460
その他	39,908	50,685
小計	△679,481	△339,279
利息の受取額	13,324	11,437
法人税等の支払額	△2,621	△2,490
営業活動によるキャッシュ・フロー	△668,777	△330,332
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△502,032	△502,372
定期預金の払戻による収入	1,447,956	502,032
有価証券の取得による支出	△3,540,350	△2,400,000
有価証券の償還による収入	3,800,000	2,838,390
投資有価証券の取得による支出	△500,000	—
敷金及び保証金の差入による支出	—	△31,742
その他	2,587	229
投資活動によるキャッシュ・フロー	708,161	406,537
財務活動によるキャッシュ・フロー		
新株予約権の発行による収入	—	3,728
財務活動によるキャッシュ・フロー	—	3,728
現金及び現金同等物に係る換算差額	82,867	47,800
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	122,251	127,733
現金及び現金同等物の期首残高	1,097,044	1,309,592
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	32,198	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,251,493	1,437,326

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計上の見積りの変更）

（資産除去債務の見積りの変更）

当第2四半期連結会計期間において、不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務として計上していた資産除去債務について、原状回復費用の新たな情報入手に伴い、見積りの変更を行いました。この見積りの変更による増加額2,995千円を変更前の資産除去債務残高に加算しております。

なお、見積りの変更に伴って計上した有形固定資産は、計上と同時にその全額を減損損失として処理しております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

当社グループは、医薬品等の研究開発及び製造販売並びにこれらの付随業務の単一セグメントであるため、記載は省略しております。